

令和5年度 第27回 公開シンポジウム

ヤマトタケル

～日本武尊から

YAMATOTAKERUへ～

ヤマトタケルは日本書紀、古事記に出てくる古代日本の皇族で、第12代景行(けいこう)天皇の皇子で、第14代仲哀(ちゅうあい)天皇の父にあたり、東国征討を行った日本古代史上の伝説的英雄とされています。

羽曳野市在住で映画監督の岡田有甲さんが、羽曳野市に伝わるヤマトタケルの「白鳥伝説」をベースに「愛と知恵と勇気」で困難に立ち向かう冒険活劇映画を製作しています。

今回の公開シンポジウムでは、このヤマトタケルをテーマに、第一部は四天王寺大学の学長である須原祥二教授に主人公のモデルとなるヤマトタケルの人物像とその背後にあるものについて解説していただきます。

第二部は、岡田有甲監督と、ヤマトタケルの声優で、アニメ「ポケットモンスター」のサトシ役でおなじみの松本梨香さんらを招き、映画「ヤマトタケル」について、お話ししていただきます。



令和6年

2/24 土

時間 13:00 ~ 15:30

会場 四天王寺大学 大講堂

〒583-8501 大阪府羽曳野市学園前3丁目2-1

参加費 無料 定員 500名 (事前申込必要・先着順)

[第一部] 講演

ヤマトタケルの人物像とその背後にあるもの



すはらしょうじ
須原 祥二

四天王寺大学 学長
人文社会学部 社会学科 教授

[第二部] 対談

羽曳野から世界へ！
映画「ヤマトタケル～白鳥伝説～」への思い



おかだゆうき
岡田 有甲

映画監督



まつもとりか
松本 梨香

声優/歌手(ヤマトタケル役)



たなかけんじ
田中 健詞

プロデューサー

主催：四天王寺大学・四天王寺大学短期大学部・羽曳野市・羽曳野市教育委員会

【スケジュール】

13:00 開会挨拶

やまのははじめ
山入端 創(羽曳野市長)

13:05 第一部 講演

ヤマトタケルの人物像とその背後にあるもの

さまざまな文献にみえるヤマトタケルの人物像は、単に地方を征服した武人にとどまらず、多彩な性格をもっています。それらを生み出したのは『古事記』『日本書紀』を編纂した奈良時代頃の貴族・官人層ですが、彼がヤマトタケルという存在にどのような想いを託したのか、掘り下げてみたいと思います。

すはらしょうじ
須原 祥二(四天王寺大学 学長 人文社会学部 社会学科 教授)

13:55 第二部 対談

羽曳野から世界へ！映画「ヤマトタケル～白鳥伝説～」への思い

羽曳野市にかつて存在した映画会社・極東シネマ古市白鳥園撮影所の魂「子どもが喜ぶ映画を作る」を現代に受け継ぎ、この地に伝わる神話「白鳥伝説」をベースにヤマトタケルを主人公にした懐かしくも新しい冒険活劇を現在製作しています。この作品にかける思いや、今後の発展などについて、製作者である監督やプロデューサー、そして主演のヤマトタケルを演じる松本梨香さんに語っていただきます。

おかだゆうき まつもと りか たなかけんじ
岡田 有甲(映画監督)・松本 梨香(声優/歌手)・田中 健詞(プロデューサー)

14:55 質疑応答

みやわき としや
司会: 宮脇 敏哉(四天王寺大学 教授 地域連携推進副センター長)

15:25 閉会挨拶

わだ よしひこ
和田 良彦(四天王寺大学 副学長 地域連携推進センター長)

▶ 岡田 有甲/監督

1954年生まれ大阪府出身。1975年横浜映画放送専門学校(現日本映画大学)に一期生として入学。「新・人間失格」(1977)に助監督として参加し、松竹株式会社大船撮影所の契約助監督になる。1998年に有限会社レフレックスを設立。映画、Vシネマ、ドキュメンタリー、テレビ番組と多くの映像作品に携わる。地元、羽曳野市に戻ってからはチャンバラ映画の活弁ライブの開催や、ドキュメンタリー映画も製作。羽曳野に伝わる日本武尊(ヤマトタケル)の白鳥伝説を題材とした脚本に取り組み。主な作品「TRAVERSE トラバース」(2019)、「ミニバンライダー 車いすで駆けてきた人生」(2016)など。

▶ 松本 梨香/声優・歌手(ヤマトタケル役)

大衆演劇の座長である父を持ち、幼少より芝居の世界に深く携わり舞台女優として大衆演劇、ミュージカルなど数々の舞台に立つ。持ち前の明るさと軽快なトークでラジオのパーソナリティーやバラエティー情報番組のコメンテーターなども務める。TVアニメ『ポケットモンスター』の主題歌「めざせポケモンマスター」はWミリオンを記録。女性初で仮面ライダーの主題歌「Alive A Life」を歌うなどその歌声は世代を問わず多くの人の心を掴み、自身で立ち上げたまんまるプロジェクトでは子供たちの笑顔を繋げるべく精力的に活動を行っている。海外での活動も多く、ワンマンライブの実施やJapan Expoへの出演など、その歌声は世界中の人々から愛されている。

▶ 田中 健詞/プロデューサー

1967年大阪生まれ。大学卒業後、TVCM制作プロダクションに入社。プロダクションマネージャーとして映像制作に従事。以降30年以上に渡り、TVCMをはじめとする映像の企画・演出・プロデュースに携る。1991年から東映CM株式会社、2001年から株式会社ハイスクール(現・株式会社アマナ)、2011年から株式会社電通クリエイティブX、2014年にフリーランスとして独立。2023年には株式会社共鳴部を設立。最新監督作品は大人の青春群像劇『バウムクーヘン』。日本映画監督協会会員。

会場

四天王寺大学 大講堂
〒583-8501 大阪府羽曳野市学園前3丁目2-1

交通アクセス

近鉄南大阪線「藤井寺」駅と「古市」駅より
「四天王寺大学行」近鉄バスで約15分
※大学の駐車場をご利用いただけます

申込方法

【URL】
<https://www.shitennoji.ac.jp/ibu/exten/08symposium/>

(四天王寺大学ホームページ上の公開シンポジウム内の応募フォームからお申込みください。)

QRコードはこちら



問合せ先

四天王寺大学 地域連携推進センター
072-956-3345